2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名　リバーエレテック株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6666　URL http://www.river-ele.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 若尾　富士男
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務本部長　(氏名) 大柴　公基　TEL 0551－22－1211

四半期報告書提出予定日　2021年2月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,992	23.2	389	―	349	―	349	―
2020年3月期第3四半期	3,239	2.6	△58	―	△60	―	△59	―

(注) 包括利益　2021年3月期第3四半期　337百万円　(―%)　2020年3月期第3四半期　△92百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	47.40	―
2020年3月期第3四半期	△8.03	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	7,304	1,301	17.8	175.18
2020年3月期	6,782	922	13.6	125.20

(参考) 自己資本　2021年3月期第3四半期　1,301百万円　2020年3月期　922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	―	0.00	―	―	―
2021年3月期	―	0.00	―		
2021年3月期(予想)				―	―

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2021年 3月期の連結業績予想(2020年 4月 1日～2021年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,450	21.7	560	―	500	―	485	453.9	65.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	7,492,652 株	2020年3月期	7,492,652 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	62,550 株	2020年3月期	121,302 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	7,372,811 株	2020年3月期3Q	7,371,350 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（追加情報） …… 10
（セグメント情報等） …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、長期化する米中問題の深刻化や新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により経済活動が抑制されました。また一部では感染の再拡大も見られ、先行きも不透明なことから依然として厳しい環境にあります。

このようななか、当社グループは、進展する５G社会に不可欠な通信機器の高機能・高性能化を支える水晶製品の需要に注力し、全社をあげて業績向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、5Gスマートフォン向け製品の販売が順調に推移し、前年同期比23.2%増の3,992,007千円の増収となりました。また利益につきましては、営業利益は389,936千円（前年同期は58,206千円の営業損失）、経常利益は349,818千円（前年同期は60,462千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は349,444千円（前年同期は59,172千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）といずれも増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（水晶製品事業）

	前第３四半期連結累計期間 自　2019年４月１日 至　2019年12月31日	当第３四半期連結累計期間 自　2020年４月１日 至　2020年12月31日	前年同期比
売上高	3,202,148千円	3,964,726千円	23.8%
セグメント利益又は損失（△）	△57,866千円	355,399千円	―

水晶製品事業の売上高は、新型コロナウイルスによる影響から車載向けが低調でありましたが、スマートフォン向け音叉型水晶振動子の数量増加等により、3,964,726千円（前年同期比23.8%増）の増収となりました。セグメント利益は、堅調な受注に加え、プロダクトミックスによる採算性の向上等により、355,399千円（前年同期は57,866千円のセグメント損失）と大幅な利益改善となりました。

（その他の電子部品事業）

	前第３四半期連結累計期間 自　2019年４月１日 至　2019年12月31日	当第３四半期連結累計期間 自　2020年４月１日 至　2020年12月31日	前年同期比
売上高	37,766千円	27,281千円	△27.8%
セグメント損失（△）	△2,596千円	△5,580千円	―

その他の電子部品事業は、車載関連機器向けの受注が前年を下回ったことから、売上高は27,281千円（前年同期比27.8%減）、セグメント損失は5,580千円（前年同期は2,596千円のセグメント損失）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、商品及び製品の増加116,682千円、機械装置及び運搬具の増加567,714千円、建設仮勘定の減少491,769千円、繰延税金資産55,050千円の増加等により、前連結会計年度末から521,425千円増加し、7,304,231千円となりました。

負債合計は、短期借入金の減少69,408千円、１年内返済予定の長期借入金の増加66,039千円、未払法人税等40,102千円の増加等により、前連結会計年度末から142,718千円増加し、6,002,603千円となりました。

純資産合計は、資本剰余金の減少754,760千円、利益剰余金の増加1,136,741千円等により、前連結会計年度末から378,707千円増加し、1,301,627千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は394,265千円（前年同期は92,761千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益349,248千円、減価償却費323,688千円、棚卸資産の増加196,626千円、前受金の減少77,352千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は461,009千円（前年同期は29,523千円の獲得）となりました。これは主に定期預金の預入による支出544,080千円、定期預金の払戻による収入451,365千円、有形固定資産の取得による支出364,696千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は29,314千円（前年同期は47,310千円の使用）となりました。これは主に短期借入金の減少額（純額）69,408千円、長期借入れによる収入898,333千円、長期借入金の返済による支出793,622千円等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年５月13日に公表しました2021年３月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年２月12日）公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,547,368	1,585,731
受取手形及び売掛金	1,174,497	1,152,933
商品及び製品	74,686	191,368
仕掛品	392,349	437,357
原材料及び貯蔵品	560,138	593,289
その他	139,904	249,615
貸倒引当金	△23,101	△22,661
流動資産合計	3,865,844	4,187,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	299,484	302,550
機械装置及び運搬具（純額）	913,095	1,480,810
工具、器具及び備品（純額）	47,663	83,093
土地	415,429	415,429
リース資産（純額）	31,981	24,204
建設仮勘定	928,399	436,630
有形固定資産合計	2,636,054	2,742,719
無形固定資産		
ソフトウエア	695	2,185
その他	9,466	9,466
無形固定資産合計	10,161	11,651
投資その他の資産		
投資有価証券	38,993	49,706
繰延税金資産	98,346	153,396
その他	133,405	159,122
投資その他の資産合計	270,745	362,226
固定資産合計	2,916,961	3,116,596
資産合計	6,782,805	7,304,231

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	306,045	300,203
短期借入金	1,053,037	983,629
1年内返済予定の長期借入金	1,115,590	1,181,629
未払法人税等	15,354	55,456
賞与引当金	31,821	54,334
設備関係支払手形	271,024	246,626
その他	635,513	698,835
流動負債合計	3,428,386	3,520,714
固定負債		
長期借入金	2,031,265	2,069,937
繰延税金負債	36	35
役員退職慰労引当金	118,050	121,000
退職給付に係る負債	266,812	281,262
その他	15,333	9,654
固定負債合計	2,431,497	2,481,889
負債合計	5,859,884	6,002,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	787,297	32,536
利益剰余金	△744,580	392,160
自己株式	△17,891	△9,235
株主資本合計	1,095,345	1,485,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,857	△9,043
為替換算調整勘定	△158,567	△175,311
その他の包括利益累計額合計	△172,424	△184,354
純資産合計	922,920	1,301,627
負債純資産合計	6,782,805	7,304,231

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年12月31日）
売上高	3,239,915	3,992,007
売上原価	2,589,776	2,811,353
売上総利益	650,138	1,180,654
販売費及び一般管理費	708,345	790,717
営業利益又は営業損失（△）	△58,206	389,936
営業外収益		
受取利息	3,583	2,062
受取配当金	2,020	1,877
為替差益	7,479	－
補助金収入	129	6,396
その他	24,826	2,752
営業外収益合計	38,039	13,088
営業外費用		
支払利息	34,513	39,446
為替差損	－	11,396
その他	5,781	2,362
営業外費用合計	40,295	53,206
経常利益又は経常損失（△）	△60,462	349,818
特別利益		
固定資産売却益	1,031	4
投資有価証券売却益	29,087	－
特別利益合計	30,118	4
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	0	414
投資有価証券評価損	24,242	160
特別損失合計	24,242	574
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△54,586	349,248
法人税、住民税及び事業税	4,585	56,343
法人税等調整額	－	△56,538
法人税等合計	4,585	△195
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△59,172	349,444
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△59,172	349,444

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△59,172	349,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,933	4,814
為替換算調整勘定	△41,189	△16,743
その他の包括利益合計	△33,255	△11,929
四半期包括利益	△92,427	337,514
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△92,427	337,514

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△54,586	349,248
減価償却費	281,898	323,688
貸倒引当金の増減額（△は減少）	92	61
賞与引当金の増減額（△は減少）	△12,152	22,512
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△18,750	2,950
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△1,025	14,449
受取利息及び受取配当金	△5,603	△3,940
支払利息	34,513	39,446
為替差損益（△は益）	13,906	6,865
有形固定資産売却損益（△は益）	△1,031	△4
有形固定資産除却損	0	414
投資有価証券売却損益（△は益）	△29,087	－
投資有価証券評価損益（△は益）	24,242	160
補助金収入	△129	△6,396
売上債権の増減額（△は増加）	△31,773	18,183
たな卸資産の増減額（△は増加）	10,398	△196,626
仕入債務の増減額（△は減少）	△54,730	△3,619
未収入金の増減額（△は増加）	287	4,795
未払金の増減額（△は減少）	△943	△4,763
前受金の増減額（△は減少）	△402	△77,352
その他	△28,613	△57,131
小計	126,508	432,940
利息及び配当金の受取額	5,597	3,926
利息の支払額	△33,966	△36,495
法人税等の支払額	△8,303	△12,818
法人税等の還付額	2,795	316
補助金の受取額	129	6,396
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,761	394,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△465,874	△544,080
定期預金の払戻による収入	546,969	451,365
有形固定資産の取得による支出	△108,858	△364,696
有形固定資産の売却による収入	1,031	4
投資有価証券の取得による支出	△4,846	△4,571
投資有価証券の売却による収入	61,492	－
その他	△390	967
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,523	△461,009
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	213,199	△69,408
長期借入れによる収入	600,000	898,333
長期借入金の返済による支出	△848,325	△793,622
長期未払金の返済による支出	△416	－
リース債務の返済による支出	△11,768	△5,962
自己株式の取得による支出	－	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,310	29,314
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,557	△16,784
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	55,416	△54,213
現金及び現金同等物の期首残高	813,933	1,084,945
現金及び現金同等物の四半期末残高	869,349	1,030,731

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2020年６月25日開催の第75回定時株主総会の決議により、2020年６月26日付で、会社法第448条第１項の規定に基づき、資本準備金787,297千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替え、また、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金787,297千円を減少し、同額を繰越利益剰余金に振り替え、損失の補てんを行いました。

また、当社は、2020年９月18日開催の取締役会の決議に基づき、2020年12月25日付で当社及び当社子会社の従業員に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式58,800株の処分を行い、当第３四半期連結累計期間において資本剰余金が32,536千円増加、自己株式が8,681千円減少しております。

この結果、当第３四半期会計期間末において資本剰余金が32,536千円、利益剰余金が392,160千円、自己株式が9,235千円となっております。

（追加情報）

（会計上の見積り）

前事業年度の有価証券報告書の（追加情報）（会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期について、当初2021年３月期末までには収束に向かうものと仮定しておりましたが、緊急事態宣言が再び首都圏中心に発出される等の現状を踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は2022年３月期末まで一定期間にわたり及ぶものと仮定の見直しを行い、会計上の見積り（主に繰延税金資産の回収可能性）を行っております。この仮定の見直しに伴う四半期財務諸表への影響は軽微であります。

また、当社では、翌連結会計年度において中長期的な成長を見据えた生産能力の増強を予定しており、これが翌連結会計年度の業績への影響があるものと予想されるため、仮定の見直しを行い、会計上の見積り（主に繰延税金資産の回収可能性）を行っております。

なお、会計上の見積りについては、実績及び中・長期計画を含む将来に関する情報に基づき適切に算出しておりますが、予測不能な前提条件の変化により当該見積りに変動が生じた場合には、当社グループの財政状態や経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

（譲渡制限付株式としての自己株式処分）

当社は、2020年９月18日開催の取締役会において決議いたしました当社及び当社子会社の従業員に対する譲渡制限付株式として自己株式の処分（以下、「本自己株式処分」という。）について、2020年12月25日に払込手続きが完了いたしました。

１．処分の概要

(1) 払込期日	2020年12月25日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式　58,800株
(3) 処分価額	1株につき　701円
(4) 処分総額	41,218,800円
(5) 処分先及びその人数並びに処分株式の数	当社の従業員　　71名　14,200株 当社子会社の従業員　223名　44,600株
(6) その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

２．処分の目的及び理由

当社は、当社及び当社子会社の従業員に対し、感謝とこれまでの努力に報いるとともに当社グループの持続的な企業価値向上を図るインセンティブの付与及び株主価値の共有を目的として、2020年９月18日開催の取締役会において、本自己株式処分を決議いたしました。

（連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和２年法律第８号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号　2020年３月31日）第３項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号　2018年２月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自2019年４月１日　至2019年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,202,148	37,766	3,239,915	3,239,915
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	3,202,148	37,766	3,239,915	3,239,915
セグメント損失（△）	△57,866	△2,596	△60,462	△60,462

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△60,462
四半期連結損益計算書の経常損失（△）	△60,462

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自2020年４月１日　至2020年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,964,726	27,281	3,992,007	3,992,007
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	3,964,726	27,281	3,992,007	3,992,007
セグメント利益又は損失（△）	355,399	△5,580	349,818	349,818

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	349,818
四半期連結損益計算書の経常利益	349,818

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。